

眼とメガネの健康情報

メガネボランティアについて

なかむらでは10年以上前から、メガネのボランティアを行っております。

どのような活動かというところ、タイ王国の方々へ老眼鏡を届けることです。



ボランティアの流れ

しかし、単純に老眼鏡を渡すのではなく、お客様からの善意も一緒に届ける為に、お客様からお預かりしたメガネを一つ一つオーバーホールします。メガネのレンズ、鼻パット、先セルを外してフレームは磨きます。その後、各部品を新しい物に付け替え、老眼鏡として再生させます。

集めた老眼鏡は年一回タイ王国に私たちが直接お届けしております。

現地では1日、約100人以上の方が集まります。一人一人の目に必

要な老眼の度数を確認して、度数の中から好みのフレームを選んで頂き、一人一人フィッティングしてから、メガネとケースと気持ちをお渡してお渡します。



活動のきっかけ

メガネボランティアの活動を始めたきっかけは、全国の眼鏡店経営者仲間が集まる勉強会での話でした。

仲間の一人が「タイ王国では、お坊さんなどた

くさんの人たちが手元が見えず困っている」事を知り、「本当に必要としている人に使ってもらいたい」と活動を提案。その思いに賛同した10人で「NPO法人JTO VG」（日本 タイ王国メガネボランティアグループ）を設立しました。

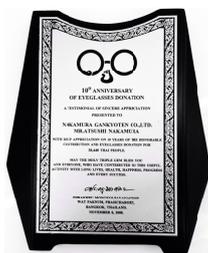
バンコク市内にあるパグナム寺院の副住職であるピチャイ氏が活動の趣旨に賛同してくださり、寺院の境内をお借りして老眼鏡の配布活動が出来る事になりました。

現在は、全国の優良メガネ小売店24社がJTO VGに加盟して運営をしております。



印象的な出来事

私は8、9、10回目の時に活動に参加しました。10回目の時は10周年という事もあり、現地の子供たちに踊りを披露して頂いたり、タイ王国の寺院から盾や賞状を頂くなど、大変光栄な待遇を受けました。



頂いた盾

それより、私が一番記憶にあるのは、初めてボランティア活動に参加した8回目の時です。

午前中に日本から参加した20数名の中で私がお渡しした方が、お昼休み、食事している時に隣に連れて来て、土の仏像をお礼として頂きました。

物を貰ったからではなく、「私たちの気持ちに本当に届いているんだ」と思い、感激しました。今もその仏像は大事に保管しております。



土で出来た仏像

今後の活動

今年は、残念ながら私自身の日程が合わず参加する事が出来ませんが、志を同じくする同士が、私の分まで心を込めて、メガネを手渡ししてくれました。

タイ王国にはまだまだメガネを必要としている方がたくさんおられます。ボランティア活動にご賛同いただき、メガネをお預かりしたお客様への感謝と、現地の方へ「手渡し」できる喜びを胸に、今後もこの活動を続けてまいります。

もし、ご自宅でご不要のメガネがあれば、是非当店までお持ち下さい。皆さまのお気持ちを大切にお届けします。

中山店 中村 A



ベターなものよりーベストなものへ

あなたの目を守るーメガネ専門店



Optical Shop
Nakamura

メガネ作りは、知的で高度な技術の作業です。

中山駅前店

相澤眼科 第2P 区役所
至 東神奈川 中山駅 第1P 至 町田

〒226-0014 横浜市緑区台村町290
☎(045)931-2499(代) AM10:00~PM8:00
<年中無休> 中山商店街第1・第2駐車場(1時間無料)

鴨居駅前店

至 東神奈川 鴨居駅 至 町田

〒226-0003 横浜市緑区鴨居1-7-1
☎(045)933-0003(代) AM10:00~PM8:00
<年中無休>

ららぽーと横浜店

西立休館東場 6ららぽーと横浜 3F
至 東神奈川 至 町田

〒224-0053 横浜市都筑区池辺町4035-1(3F)
☎(045)414-2424(直) AM10:00~PM9:00
<年中無休>